

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

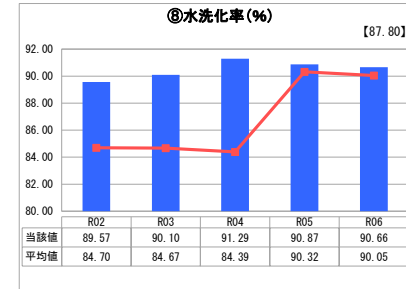
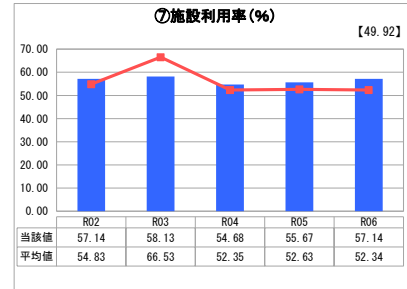
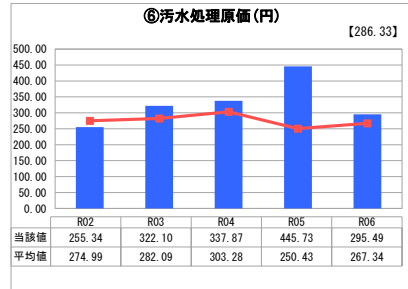
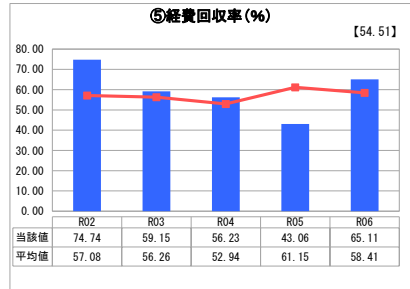
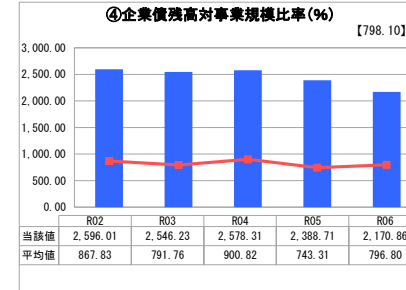
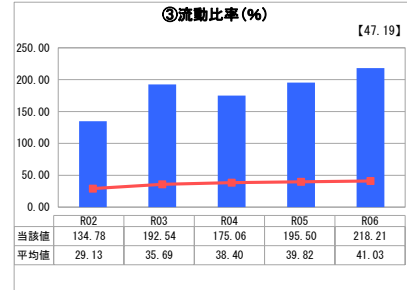
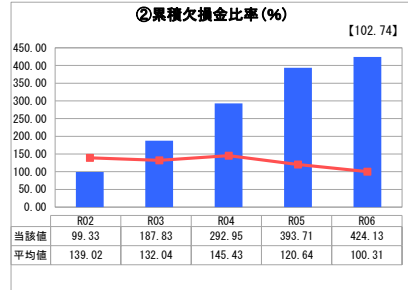
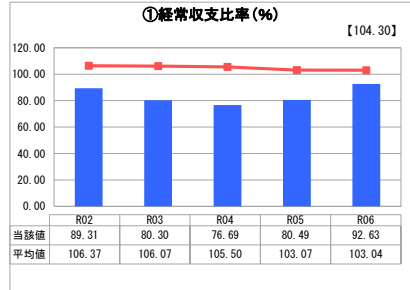
岡山県 備前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	73.66	1.54	87.71	3,872

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,816	258.13	119.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
471	0.15	3,140.00

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

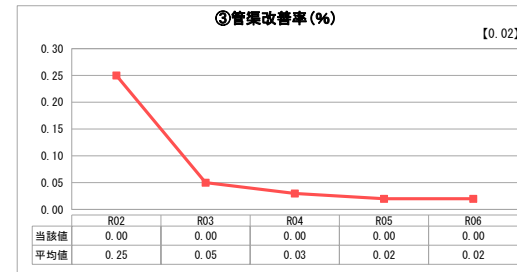
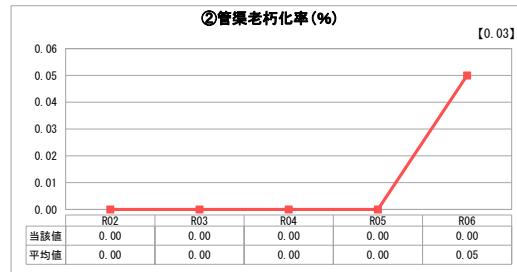
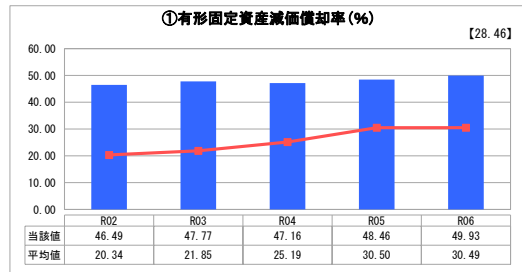
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、前年度と比べて若干改善している。
- ② 累積欠損金比率は、前年度に比べて悪化した。これは一般会計繰入金の減少によるところが大きい。
- ③ 流動比率は、流動資産の増加により若干改善している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、ほぼ横ばいで推移している。残高が減少しているため改善傾向にある。
- ⑤ 経費回収率、⑥ 汚水処理原価は、費用の減少により改善した。今後も費用の抑制に努めていく。
- ⑦ 施設利用率は、前年度と同水準で推移している。
- ⑧ 水洗化率は、ほぼ同程度で推移している。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べて高いが、顕著な問題はない。ただし、老朽化に伴う修繕の増加とともに、最速整備構想における機械施設の更新も予定していることから、財源確保に努める必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

安定的な運営を図るため、H28年度に策定した経営戦略(R7改定予定)により経営改善に努める。具体的には、企業債を活用するとともに、未接続世帯の解消を促進し、使用料収入の確保、施設等の長寿命化や計画的な更新、修繕計画の策定、費用の平準化を図り、経営改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。